

みんなの願い

力をあわせて実現しましょう



中学校卒業まで
こども医療費を無料に

温かい中学校給食へ改善

保育料10%削減
待機児童をゼロに



住宅・店舗の
リフォーム助成制度を

地元中小企業と
商店の支援を

ブラック企業
ブラックバイト根絶を



37系統など
市バスの増便、
路線の充実を

イノシシ被害の
根絶を



国民健康保険料を
1人1万円引き下げます

介護保険料と利用料を
引き下げます

認知症の予防・早期受診
など対策の強化を



南海トラフ地震による
津波対策強化

土砂災害の防止、
急傾斜地対策の強化

安全な場所への
避難所の増設を



中学校卒業まで
子どもの
医療費無料化を！
実現させよう
署名を
集めよう

日本共産党 議員団

建設的提案で住民要求実現

中学校給食
こどもの医療費助成

2006年秋から「こども署名」にとりくみ、中学校給食と医療費助成の拡充を実現。当時3市町であった中学卒業まで入院・通院無料は、今年から県下の7割を超える30市町で実施されます。神戸市も無料にします。

保久良山の
治山工事が実現へ

一昨年9月の豪雨で一部が崩れた保久良山。復旧と再発防止のため、山道全体の整備を国に求めています。来年度の予算がつき、全体の治山工事が始まります。

被災者への
公的支援

今年度は阪神・淡路大震災から20年。「被災者に個人補償を」の共同で全壊に300万円支給の制度ができました。借り上げ公営住宅からの「追い出し」でも高齢者などの継続入居を認めさせました。希望者全員の継続入居へ全力をつくします。

パナソニックに
34億円返還させる

「偽装請負」や身勝手な撤退をする大企業への誘致補助金を批判。知事も「正社員を求めろ」と議会答弁せざるをえなくなりました。身勝手な工場閉鎖を決めたパナソニックに県の補助金34億円を返還させました。

議会と行政をチェック

政務活動費の不正根絶 費用弁償も改善

使途の厳格化とすべての領収書公開を求めて独自の条例提案を6回。公開制度が実現したことで不正使用の実態が明らかになりました。政務活動費の見直しをリードし、共産党が主張していた費用弁償の「実費支給」も実現。今後も会計帳簿のネット公開、グリーン車使用の禁止など改善をすすめます。

政治とカネ 政党助成金・企業団体献金はキッパリ廃止を

助成金目当てで政党の離合集散が繰り返されるなど、政党助成金は政党の墮落を招いています。大臣の相次ぐ辞任など企業献金をめぐる不正もあとをたちません。日本共産党は国会に政党助成金廃止法案を提出しました。

財源はあります

今年も
予算組み替え
を提案します

一般会計予算は県2兆円、神戸市7000億円の規模。この1~2%を開発優先から市民本位に組み替えるだけで、「くらし・社会保障向上」の財源は確保できます。県・市の予算を吟味し、建設的提案をおこなっているのは、日本共産党だけです。県議会15年連続、神戸市議会13年連続となる今年も予算の組み替えを提案します。

大企業「呼び込み」・大型開発に熱心

くらし、福祉切り捨ての県政・神戸市政

パナソニック尼崎工場の撤退による教訓を生かさず大企業への巨額補助金を続けています。湾岸線西伸部計画や播磨臨海地域道路の建設などムダな開発計画も目白押し。その一方で、住民向けの予算はバツサリ削減。県は高齢者医療費、ひとり親家庭医療費、老人クラブや私立高校の補助を削減。

神戸市は敬老パスの有料化、福祉年金や福祉パスなど次つぎと廃止。保育料や国保料の値上げなど主な負担増は、12年間で500億円以上にのぼります。学校新設にも二の足を踏み、全9区30校にのぼる小中学校が仮設校舎での授業をよぎなくされています。

老人医療の助成対象
(65~69歳、17.5万人→2.1万人へ)

